

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜生物産業学部自然資源経営学科＞（認定科目 高一種免（公民））

（１）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	現代社会の諸事象について捉える視座と基礎を学ぶ。また、オホーツクの自然・環境・産業・地域社会について、生物産業学と関連させて幅広く学びながら「地域」問題を見る目を養う。
	後期	現代社会の諸事象を捉えるための情報収集手段について実践的に学ぶ。とりわけ5大紙などの新聞記事を適宜取り上げ、発生事情やその背景について洞察する目を養う。
2 年次	前期	現代社会の諸事象を捉え、多様な意見や基本視覚を学ぶための討論とコミュニケーション力を鍛錬する。自分の意見を整理し（情報整理）、他に向かって発言（情報発信）、その異同を認めつつ一つの体系性を持たせた理解へと高める。
	後期	引き続き、現代社会の諸事象を捉え、多様な意見や基本視覚を学ぶための討論とコミュニケーション力を鍛錬する。自分の意見を整理し（情報整理）、他に向かって発言（情報発信）、その異同を認めつつ一つの体系性を持たせた理解へと高める。
3 年次	前期	社会科学の基礎理論を、経営学や経済学に則して学修し、積極的に議論する。ディベート形式などを採用しディスカッションの方法と筋道、情報と理解の共有化を図るスキルを身につける。
	後期	社会科学の基礎を経営学や経済学に則して学んだスキルを応用する。地域の食と農の結びつきをはじめ、各自の問題関心に応じて事象そのものを調べ、既存文献や資料の探索方法、および統計データの所在探索やデータ処理方法を学ぶ。
4 年次	前期	自然資源と地域産業の共生を通じた「地域活性化」や「環境共生」の課題発見と、その解決方法について実践的に学ぶ。卒業論文作成の作業と連動させて、世界と日本、地域社会の動向と関連させて「社会事象」を捉える本格的鍛錬に取り組む。
	後期	「地域活性化」や「環境共生」の課題発見と、その解決方法について実践的に捉え、地域への政策提言や調査活動を通じて得られるインプリケーションを整序するスキルを身につける。併せて、一連の提言をプレゼンテーションする能力を鍛える。